

三大ヴァイオリン協奏曲の響宴

国内外で活躍するヴァイオリニスト・松田理奈が、創立60周年を迎えた名門オーケストラ・札幌と共に、クラシックファンのみならず幅広い世代の人々から愛されてきた「三大ヴァイオリン協奏曲」を一挙に演奏するコンサート。高度な技巧と情緒豊かな表現で魅せる実力派ヴァイオリニスト・松田理奈が奏でるヴァイオリン協奏曲の名作をお楽しみください。



©K.Miura

松田理奈／ヴァイオリン



桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースにて研鑽を積み、2006年ドイツ・ニュルンベルク音楽大学に編入。2007年、同大学を首席にて卒業。2001年、第10回日本モーツァルト音楽コンクールヴァイオリン部門第1位(同コンクール史最年少優勝)。2002年にはトッパンホールにて「16才のイザイ弾き」というテーマでソロリサイタル開催。2007年、サラサーテ国際コンクールにてディプロマ入賞。これまでに国内の主要オーケストラと数多く共演するほか、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー室内管弦楽団、ベトナム国立交響楽団など海外のオーケストラや著名な指揮者とも共演。2010年11月にはイザイの無伴奏ヴァイオリンソナタを全曲収録した『YSAÏE』をリリースし「レコード芸術」誌上にて特選盤に選ばれた。2018年5月ブラームスとフランクのソナタをピアニスト清水和音氏と収録した5枚目のアルバムをリリース。

太田弦／指揮



1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に、2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任。

札幌交響楽団



1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれ、2021年には60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。例年の年間公演回数は約120回。さらに小編成でのアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。海外ではこれまでにヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国を訪問し、各地で好評を博した。歴代指揮者には、名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴェルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカなどがある。現在、スイス出身の首席指揮者マティアス・バーメルト、名誉音楽監督の尾高忠明、友情指揮者の広上淳一、正指揮者の川瀬賢太郎を擁する。